

コード	301030506
記入日	H24.10.31

新規事業評価表【事前評価】

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	近藤 聡

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	若松歯科診療所移設・改修事業
----------	----------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010305	事務事業名称	保健衛生総務管理事業費（人件費以外）	細目コード	1193
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町立若松歯科診療所条例 新上五島町港ターミナルビル条例		

計画（PLAN）

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 若松地区住民 (対象2)	(対象指標1) 3,304人 (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標
・現在の若松歯科診療所は、旧若松町立歯科診療所として昭和49年に開設以来、民家を改修し、1階部分を医師住宅、2階部分を診察室として使用しているが、老朽化が酷く、今後も修繕費用が高むことが予想され、本診療所を若松港ターミナル1階部分に移設・改修することによって、地域住民の利便性・サービスの向上を図る。 →改修面積 診察室A=43.68㎡、待合室A=17.68㎡ →若松歯科診療所改修工事設計業務委託料 400千円 →若松歯科診療所改修本工事 6,000千円 →若松歯科診療所医療機器移設設置費 1,000千円	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	② 医療機器移設 1.0式 平成25年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標
・現在の若松歯科診療所は、旧若松町立歯科診療所として昭和49年に開設以来、民家を改修し、1階部分を医師住宅、2階部分を診察室として使用しているが、老朽化が酷く、今後も修繕費用が高むことが予想される。また、現歯科診療所は、診察室が2階であるため、不便をきたしている。本診療所を若松港ターミナル1階部分に移設・改修することによって、地域住民の利便性・サービスの向上、延いては患者リコール率向上による診療報酬収入の増が見込まれる。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)
	② 診療可能日数 365日 診療可能日数 平成25年度

実施（DO）

	単位	全体計画		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		H 25 ~	H -							
活動指標	① ㎡	61.36			61.36					
	② 式	1.0			1.0					
成果指標	① %	100			100					
	② 日	365			365					
総事業費 C (A+B)	千円	8,100			8,100					
直接事業費 A	千円	7,400			7,400					
人件費 B	千円	700			700					
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	3,000		3,000					
	起債	千円	3,400		3,400					
	その他	千円								
一般財源	千円	1,700			1,700					

評価 (CHECK)

評価項目	内 容
・事業の緊急性・必要性はありますか。	昭和49年に開設以来、民家を改修し、1階部分を医師住宅、2階部分を診察室として使用しているが、老朽化が酷く、診察ができない状況が想定される。また、診察室が2階であるため、高齢者等の受診者が危険であり不便をきたしている状況であるため、早急な対応が必要である。
・事業の対象・目的は適切ですか。	適切である。
・町が税金を投入して行う必要がありますか。	地域住民の利便性・サービス向上を主とした事業であるため、税金を投入して行う必要がある。
・事業を行わない場合の影響はありますか。	建物そのものが古いため、今後膨大な修繕費が見込まれ、更には診察が出来ない状況も想定されるため、受診者及び診療報酬収入（経営）への影響が考えられる。
・事業費を削減できませんか。（費用対効果）	必要最小限の経費であり、また公共施設の有効利用の観点から費用対効果はある。
・受益者負担は適正ですか。	適正である。
・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	地域医療体制の充実・利便性を図るため必要な事業であると判断する。また、現建物については、危険性もあることから協議して解体するなど跡地の有効利用を図ること。
-------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>計画どおりに事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施期間を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を減額して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●	●		計画どおりに事業を実施する				事業内容を見直して事業を実施する				実施期間を見直して事業を実施する				事業費を減額して事業を実施する				類似事業と整理統合して実施する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画どおり実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画を見直して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当分の間は実施しない</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					次年度以降に計画どおり実施する				次年度以降に計画を見直して実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する				当分の間は実施しない
	1次	2次	3次																																											
	●	●		計画どおりに事業を実施する																																										
				事業内容を見直して事業を実施する																																										
				実施期間を見直して事業を実施する																																										
				事業費を減額して事業を実施する																																										
			類似事業と整理統合して実施する																																											
1次	2次	3次																																												
			次年度以降に計画どおり実施する																																											
			次年度以降に計画を見直して実施する																																											
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																											
			当分の間は実施しない																																											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。